

おうちの図工室・美術室

言葉なんていらないーノハウホウー

対象学年 中学3年生～高校2年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

国際化時代ですね。グローバルの時代です。

日本人の方が外国の方から聞かれるのは、折り紙の折り方（千羽鶴など）です。

もし、その方が日本語も英語も理解できない方だったら、どのように説明しますか。

「日本のカレーの作り方」「駅の切符の買い方」「たべやすいコンビニおにぎりのビニールのむき方」など外国の方から見て、日本の生活の中で、外国の方が知っていたら便利だろうなと思う「作り方」「扱い方」を言葉以外で説明してください。それを「ノハウホウ」と呼びます

「ノハウホウ」は絵にかいてもいいですし、写真をとって画用紙に貼っても、動画で作成できる人は動画でも構いません。たくさんの「ノハウホウ」を作ってくださいね。

- 「ノハウホウ」での用紙の大きさ、形等は自由です。動画の場合はデータを送ってください。
- パソコンで作っても、画用紙や、コピー用紙に絵の具や、ペンで書いてもいいですね。ただし、「ノハウホウ」は一切文字（日本語も、英語も）を使わないでね。（裏には名前を書いてください）
- 提出する「ノハウホウ」は1つでも、2つでも、3つでも・・・いくつでも構いません。
- 提出のときには、別の用紙（様式は自由）に「ノハウホウ」をつくった時の気持ち、思いを「日本語で（英語でもいいよ）」で書いて一緒に提出してください。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、用紙にかいた人は写真にとって、動画の人は動画を、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

深く見つめる

日常にあって、普段使い方や存在を気につけないものを、言葉以外で考えることで、新しい価値の発見や、使い方、気づきを期待できます。

社会への広まり

社会や他者に、言葉以外で伝える方法を考えます。また、当たり前のことを改めて捉えなおすことで、モノへの価値の再認識を促します。

三観点

知識・技能

他者に伝える方法を言葉以外の方法で伝えることができる。

思考・判断・表現

身のまわりにあるものの価値を再認識し、本来の役割や、伝えるべき内容を整理できる。

主体的に学習に取り組む態度

自分の気づきを人にわかりやすく伝えるために、自分の技能で伝えようとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば



「 おいしいお茶の入れ方 」

使用した材料・道具

画用紙、絵の具、ペン、
筆、筆洗、パレット、
はさみ

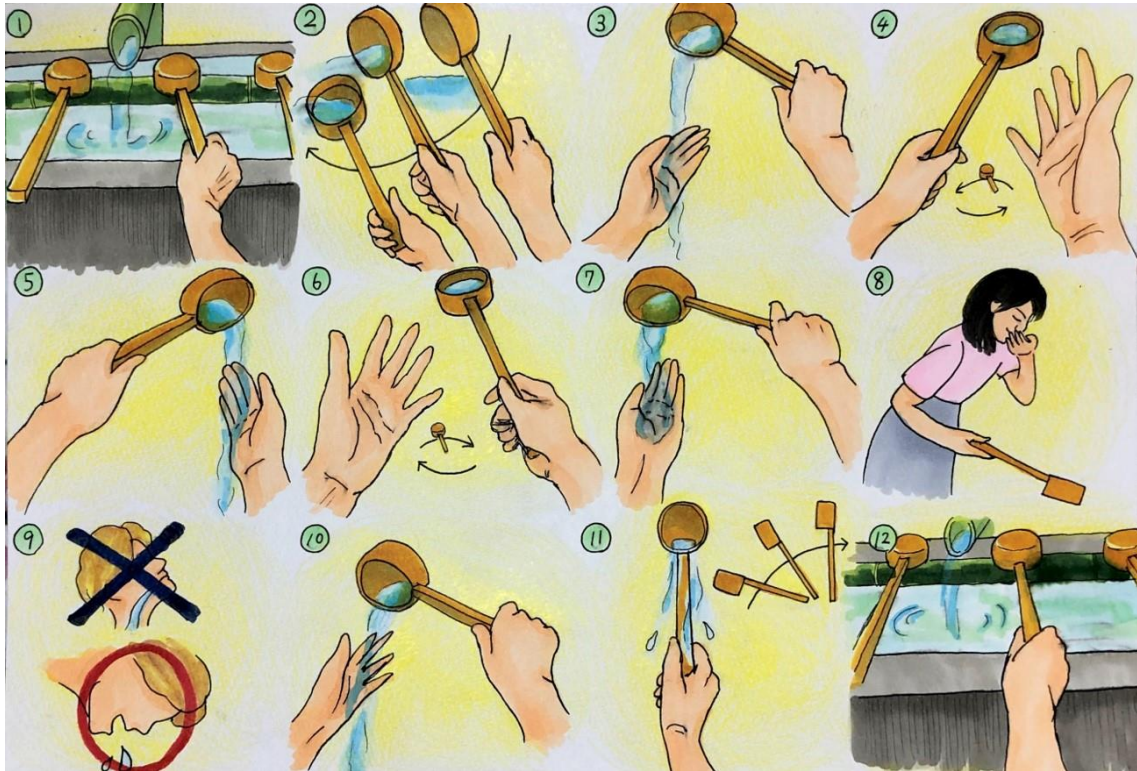
日本のお茶を
楽しみながら
すてきな時間を
過ごしてほしいな

なるほど！
知らなかった！
どうやったら
伝わりやすいかな

使い方や入れ方
を知っていると
もっとお茶を
楽しめるかも

おいしいお茶の入れ方を絵で表してみました。旅館に泊まった時など、部屋にお茶のセットが机の上に置いてある光景をよく目にします。おもてなしのころを感じ、嬉しい気持ちになります。しかし、きゅうすなどの道具の使い方が分からないとお茶を楽しめません。それだけでなく、使い方を知っている人は、お茶の入れ方を工夫するともっとおいしくいただくことができるなと思いました。改めて、お茶の入れ方を調べると、自分でも知らなかったことが分かり、また、絵で表すことで、これまで何気なく使っていたことにも気づきました。伝わりやすいように、横からみた様子を描いたり、中身がわかるように表しました。日本のお茶を楽しみながら、すてきな時間を過ごしてほしいです。

おうちの図工室、美術室



サイズ：A4 画材：耐水性ペン、コピック、色鉛筆 感想 私は、日本人でも「あれ、どちらから洗うんだっけ？」と、戸惑うこともある手水は、外国人の方からしたらもっとわからないだろうと思い、ノハウホウを作ってみました。どうしたら言葉なしでも伝わるだろうかと考えて、動作によって視点を変えるという工夫をしました。難しいけどやってみたかったことは、手水をするこの意味を言葉なしで表すことです。意味が伝われば動作が多くても納得してできるような気がして、もっと素敵だと思います。それにはまた挑戦してみたいです。今回ノハウホウを考えてみて、日本には、私たちからすると当たり前に使っているけれど説明のない物がたくさんあるなと思いました。ノハウホウのような方法で、外国の方だけでなく、小さい子供からお年寄りまで、みんなに親切な国にしていきたいです。